

製品名: リン酸化 FAK (Tyr576) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02851**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000
分子量	Calculated MW: 119 kDa; Observed MW: 125 kDa

抗原情報

遺伝子名	PTK2 PTK2; FAK; FAK1; Focal adhesion kinase 1; FADK 1; Focal adhesion kinase-related nonkinase;
別名	FRNK; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 71; PPP1R71; Protein-tyrosine kinase 2; p125FAK; pp125FAK
遺伝子 ID	5747
SwissProt ID	Q05397
免疫原	ヒト FAK の Tyr576 周囲の残基に対応する合成リン酸化ペプチド

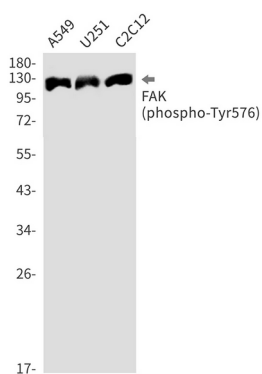
背景

この遺伝子は細胞質タンパク質チロシンキナーゼをコードしており、細胞外マトリックス成分の存在下で増殖する細胞間に形成される接着斑に集中して存在します。コードされているタンパク質はタンパク質チロシンキナーゼの FAK サブファミリーに属しますが、他のサブファミリーのキナーゼとは顕著な配列相同性がありません。この遺伝子の活性化は、特定の神経ペプチドまたは細胞と細胞外マトリックスとの相互作用に反応して誘導される細胞増殖および細胞内シグナル伝達経路において重要な初期段階である可能性があります。

研究分野

心血管系

画像データ



Phospho-FAK (Tyr576) 抗体を使用した A549、U251、C2C12 溶解物中の Phospho-FAK (Tyr576) のウエスタン ブロット分析。